

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【公表番号】特表2009-505864(P2009-505864A)

【公表日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-006

【出願番号】特願2008-527953(P2008-527953)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月7日(2009.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体上に少なくとも1つの膨潤可能な多孔質の画像受容層を有して成るインクジェット記録要素であって、前記多孔質の画像受容層が、少なくとも1種の親水性の熱可塑性ポリマーを連続相に含み、さらに、前記多孔質の画像受容層が、無機及び/又は有機のボイド誘発粒子を含む相互に連通するボイドを含む、インクジェット記録要素。

【請求項2】

浸透性のミクロボイド化層を含んで成るインクジェット記録要素の製造方法であって、(a)少なくとも1種の親水性の熱可塑性ポリマーを連続相に含み、さらに、無機及び/又は有機のボイド誘発粒子を含む溶融体に無機粒子をブレンドし；

(b)押出しにより前記溶融体から成る層を含むシートを形成し；

(c)前記シートを二軸延伸して前記無機又は有機粒子の周りに相互に連通するミクロボイドを形成させて、少なくとも1種の親水性の熱可塑性ポリマーを連続相に含み、さらに、無機及び/又は有機のボイド誘発粒子を含む相互に連通するボイドを含む画像受容層を形成し；

(d)支持体上に前記二軸延伸されたシートを適用すること、
を含む方法。

【請求項3】

A)デジタルデータ信号に応答するインクジェットプリンターを用意し；
B)前記インクジェットプリンターに請求項1に記載のインクジェット記録要素を装填し；

C)前記インクジェットプリンターにインクジェットインクを装填し；

D)前記デジタルデータ信号に対応して、前記インクジェットインクを使用して前記インクジェット記録要素に印刷すること；
を含むインクジェット印刷方法。